



ふさいだ世の中に潤いを与え、 総合エンタテインメント企業 としての使命を果たす

セガサミーホールディングス株式会社
代表取締役会長グループCEO

里見 浩
Satomi, Hajime

新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方に謹んで哀悼の意を表しますとともに、罹患された方に衷心よりお見舞い申し上げます。加えて最前線で治療に尽力されている医療関係者の皆さまを敬慕いたします。

いま、エンタテインメントができること

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、世界中で目に見えない不安や閉塞感が漂っています。人が苦しいとき、悲しいときに希望や喜び、勇気を与えることができるのがエンタテインメントです。そして、今まさに、総合エンタテインメント企業であるセガサミーグループの存在意義が問われています。

こうした状況だからこそ、社員一人ひとりが業界における革新者となり、まったく新しいエンタテインメントをつくり上げるといった強い気持ちをもって取り組まなければ、あっという間に時代の波に取り残されてしまいます。

セガサミーグループはいつの時代においても、総合エンタテ

インメント企業として良質なコンテンツの提供を通じて社会に潤いを与える存在であり続けます。

積極さと、やり抜く力を備えた人材の育成

遊技機事業では緊急事態宣言下にあっても射幸性に関する新しい型式適合試験の適合取得を進めつつ、ユーザーの支持を得られる遊技性の高い機種を開発を進めています。

5Gやクラウドをはじめとするインフラの発展によって新しいゲームプラットフォームやビジネスモデルが創出・普及することで、グローバルゲーム市場は継続して拡大されると想定されます。これを見据え、エンタテインメントコンテンツ事業では2020年4月に、セガゲームスとセガ・インタラクティブの2社を統合し、今まで以上に国内R&Dリソースを機動的に再配置し、世界市場での競争力を強化する体制を整えました。

リゾート事業では最大の目標である日本国内での統合型リゾート (IR) 参入に向けてのノウハウを蓄積し、IRを成功に導くためのビジネスパートナーとのアライアンスを結びました。

エンタテインメントコンテンツを通して感動体験を創出し、セガサミーグループがさらに飛躍するための体制は整いましたが、これは社員の成長なくしては実現しません。セガサミーグループでは、セガが掲げる「創造は生命」、サミーが掲げる「積極進取」のもと、創意工夫を繰り返し、独創的なアイデアや史上初・世界初の製品を世に送り出してきました。このチャレンジ精神のもと、自分自身が革新者であるという強い気概を持って最後までやり切った先に新しい世界が拓けます。全社員にこのような力が身に付けば、おのずと骨太でありながらも時代の流れに柔軟に対応できる会社に育っていくはずです。

積極的に挑戦し、最後までやりきるという企業風土を浸透・深化させることが結果として持続的な成長につながると確信しています。

社会とともに生きる企業としての使命を果たす

セガサミーグループは2020年10月、「環境」「依存症」「人」「製品／サービス」「ガバナンス」というグループとして取り組むべき5つの重要課題(マテリアリティ)を特定しました。これらを踏まえつつ本業を通じて社会課題を解決することでSDGs達成へ貢献していきます。

こうした考えは社会の中で生かされている以上、当然のことです。本分であるエンタテインメントを軸にした事業活動や、グループの人財やコンテンツによる東日本大震災などの被災地支援といった様々な社会貢献活動に全力を注いだ結果が社会と企業の持続的な発展につながると確信しています。

我々の考えやそれに基づく企業活動・社会貢献について今後もステークホルダーの皆さまにご理解いただけるよう、セガサミーグループ全役員・社員が一丸となって社会的な責任を果たしてまいります。

激しく移ろう時代にあって、私ができることは自身の情熱やこれまで培ってきた経験を全役員・社員に伝え続け、「革新のDNA」をつないでいくことです。新しい時代の、新しいエンタテインメントを創出し、すべての人に感動体験をお届けすることで、グループミッションである「感動体験を創造し続ける～社会をもっと元気に、カラフルに。～」を実現します。

新たな日常に必要とされる エンタテインメント企業へ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、世界中の人々の暮らし方は急速に変容しました。今まで以上に安心・安全が重視されるとともに、エンタテインメントの存在価値も見直されつつあります。当グループは、このようなニューノーマル(新常态)に必要とされるエンタテインメントを提供していきたいと考えています。それはミッション(存在意義)に掲げる「感動体験を創造し続ける～社会をもっと元気に、カラフルに。～」そのものであるとも言えます。

セガサミーらしいSDGsの取り組みとは

当グループは、これまでも「ミッションピラミッド」や、革新者として持ち続けるべき「5つの力*(S.S.FIVE=突破力・共感力・決断力・自制力・徹底力)」を共有することで企業風土の統一を行ってきました。これに加えて、2020年度からは「バリュー(価値観・DNA)」についてもセガとサミーの理念を一つにした「創造は生命×積極進取」を掲げました。

同時に、それぞれの企業が育んできた良き文化を継承することも含め、多様性を尊重する企業風土づくりを積極的に進めています。一見、相反するメッセージのように思われるかもしれませんが、そもそも多様性のある事業を行う当グループが感動体験を創造するためには、様々な個性や意見が欠かせません。成長とともに洗練されていく価値観やDNAと同じように、ダイバーシティが当たり前と思える企業風土を醸成することも、持続可能な企業経営に必要です。それゆえに、ダイバーシティへの取り組みは、セガサミーグループとして社会課題解決に貢献すべく特定した5つの重要課題(マテリアリティ)の一つとしています。

マテリアリティの中でもグループの製品/サービスの提供を通じた社会課題への対応は、当グループの特色と言えます。遊びやお客さまニーズの多様化が進む中で、誰もが安心・安全に楽しめるコンテンツを生み出すためには、異なる背景を持った社員が互いに価値観を受け入れ活かすことが欠かせません。総合エンタテインメント企業である私たちは、その先駆者でなければならない責任があります。そして、必ずやこのミッションを成功に導く力があると自負しています。

依存症および環境に対する取り組みについては、物事を生み出すことで生まれる「負」の部分を真摯にとらえ、真正面から向き合っていきます。また、ガバナンスについては、意義ある議論を行うための機会を継続的に設けるとともに、取締役報酬額改訂などを通して経営の透明化も進めています。

当グループの本分である「感動体験」の提供を実現することが結果としてSDGsへの貢献になり、それこそが真のサステナブルであるという考えを全社員に浸透させていきます。

社員とともに持続可能な企業を目指す

社会の構造は刻一刻と変化しています。そして、冒頭にも申し上げたように、新型コロナウイルス感染症が変化のスピード



新しい社会に必要とされる エンタテインメントを提供する 持続可能な企業であり続ける

セガサミーホールディングス株式会社
代表取締役社長グループCOO

里見 治紀

Satomi, Haruki

新型コロナウイルス感染症で影響を受けられました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、罹患された方が早期回復し、一刻も早く日常生活を取り戻せることをお祈り申し上げます。

を大きく後押ししています。そのような中でステークホルダーから信頼され、長く愛される企業として存在し続けるためには、世間に対して後ろめたいことをしない、誠実に正しい行いを続けるという「王道」を貫くための固い決意が必要です。企業の最も大切な財産である社員にもそのことを絶えず伝え続けるとともに、社員一人ひとりが社会に対する責任感を強く持ち、行動し続けることで、これからも真に社会に貢献する企業を体現していきます。

※ 「5つの力」についてはP.13をご参照ください。